

経営戦略研究科20周年に寄せて

2007年3月会計専門職専攻修了 三 村 啓 太

関西学院大学経営戦略研究科が二十周年を迎られましたこと、心よりお祝い申し上げます。私は会計専門職専攻の第1期生として入学しました。入学式の日に感じた緊張と期待は、今も忘れられません。勉強を始めたばかりで手探りの状況の中、先生方が真摯に指導くださり、仲間と切磋琢磨しながら新たな学びに挑戦できたことは、私の人生において大きな財産となりました。改めて、この場をお借りして関係各位に感謝申し上げます。

振り返りますと、研究科で得た学びは実務に出てから大きな支えとなり、いまも私を導いてくれています。まず、論理的思考力と文章力を鍛えていただいたことは、調書や報告書の作成にとどまらず、仕事で向き合う相手の方々に自分の考えを筋道立てて伝え、納得感を持っていただく力の基盤となりました。さらに、多彩なカリキュラムを学べたことにより、会計や監査だけでなく、戦略や組織、ファイナンスなど多様な分野を見渡す力を養うことができました。当時は学生として学ぶ立場でしたが、実務に就いてから振り返ることで理解がより深まり、知識が実際に役立つ力へと変わっていきました。その経験は、専門的な枠を超えて実務家としての視座を広げてくれました。そして何より、職業倫理を学べたことは、実務において最も大切な「よりどころ」を与えてくれました。難しい局面に立ち向かうときも、常に誠実に行動しようとする姿勢は、この研究科で培われたものにはかなりません。これらの学びは今もなお、私の仕事の根幹を支えています。

こうした学びを振り返るとき、私が今なお最も大切にしているのが、関西学院大学のスクールモットー「Mastery for Service」です。知識や経験を自分のためにとどめるのではなく、社会に奉仕するために磨き続ける、その精神は、会計専門職としての姿勢そのものを示しています。この考え方方は、実務に出てから数多くの場面でその意味を実感してきました。学んだ知識を実務にどう役立てるかという姿勢は、クライアントや社会からの安心と信頼を支える土台となり、その積み重ねがよりよいサービスにつながっていきました。まさに「Mastery for Service」の実践こそが、それを可能にするのだと実感しています。

私は、この理念を折に触れて思い返し、日々の実務に生かしてまいりました。そして、この精神を私自身、今後も確かめながら、皆さんと共にその価値を次の世代へとつなげていきたいと願っています。

最後に、改めて二十周年を心からお祝い申し上げますとともに、関西学院大学経営戦略研究科のさらなる飛躍をお祈りし、私からのメッセージとさせていただきます。ありがとうございました。